

令和5年9月定例会

予算決算委員会資料  
(福祉保健部)



## 老人福祉施設整備費補助金について

### 1 補正の概要

国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業を含む）を活用し、運営法人が実施する高齢者施設等の老朽化に伴う大規模修繕費用の補助をするため、必要な経費を補正するもの。

### 2 事業の概要

認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業（大規模修繕等分）

対象施設	補助率	上限額	下限額
認知症高齢者グループホーム、 小規模多機能型居宅介護事業所等	10/10	7,730千円/施設	800千円/施設

### 3 対象施設

施設名称	グループホームうららか
整備場所	秋田市御所野元町四丁目2-3
建物面積	総面積242.47㎡、一階面積134.76㎡、二階面積107.71㎡
定員	1ユニット9人
補助対象法人	(有)ケアランドあきた
補助対象経費	4,994千円
補助額（国）	4,994千円

### 4 対象経費

高齢者施設等の利用者等の安全・安心を確保するため、耐震化改修、水害対策に伴う改修等や施設の老朽化に伴う大規模修繕等。

当該事業所においては、老朽化したエレベーターの更新を行う。

### 5 事業実施スケジュール（予定）

7月14日	国からの内示
9月下旬	交付申請（事業者→市→国）
10月上旬	交付決定（国→市→事業者）

## 高齢者コインバス事業について

### 1 事業概要

- ・本事業は、満65歳以上の高齢者が、市内の路線バス等を利用する際に100円で乗車できるよう助成するものである。
- ・バス事業者へ支払う負担金について、令和5年度のシニアアキカ導入により、乗車実績に基づき、通常運賃から100円を差し引いた額を支払うこととしているが、4月から6月分の負担金の額が当初予算額を6割程上回るペースで推移しており、不足が生じるため、増額しようとするもの。

シニアアキカの乗車実績および市負担金等 (単位：円)

	利用延人数	通常運賃	市負担金①	当初予算② (月割相当額)	予算比 ①/②
R5.4～6月計	310,580人	95,224,340	64,166,600	39,018,273	1.64
年度見込	—	—	235,277,537	143,067,000	—

### 2 当初予算額と乗車実績に差額が生じた主な理由

- ・シニアアキカ導入により若年高齢者の利用者が増加した。  
(令和4年度における65～69歳の取得率：資格証明書35.5%→シニアアキカ66.2%)
- ・平成22年度以降に行われたバス事業者による運賃改定（初乗り運賃引上げなど）について負担金の引上げを見送ったために差が生じた。

### 3 予算額

92,211千円（負担金、補助及び交付金）

### 4 財源

一般財源

## 小規模災害援助事業について

### 1 事業内容

7月14日からの豪雨により全壊、半壊、床上浸水世帯に対して見舞金の給付を行っているが、新たに床下浸水世帯まで対象世帯を拡大し給付する。

### 2 対象世帯

豪雨被害により、全壊、半壊、床上浸水の被害を受けた市内に住所を有する世帯に加え、床下浸水被害を受けた世帯（3,000世帯）

### 3 給付額

一部損壊、床下浸水の場合：1世帯当たり3万円

※参考

（現行）

全壊の場合：1世帯当たり10万円

半壊、床上浸水の場合：1世帯当たり5万円

### 4 給付スケジュール

#### (1) 罹災証明申請者

- ア 口座確認票の送付 10月上旬から順次送付
- イ 振込予定 口座確認票の受領から10日程度で振込み

#### (2) 申立書による申請者

- ア 申立書・口座確認票の配布 10月上旬から窓口およびホームページからのダウンロードによる配布
- イ 現地調査の実施 申立書・口座確認票の受領後、被災状況の写真がない場合は、現地調査を実施
- ウ 振込予定 現地調査結果受領後、10日程度で振込

### 5 予算額

90,729千円

（内訳）災害見舞金 90,000千円  
事務費 729千円

## 障がい児者福祉施設災害復旧費補助金について

### 1 事業内容

7月14日からの豪雨により被災した障害者支援施設等および児童福祉施設等に対し、建物等の復旧工事や備品購入等に要する費用の一部を補助する。

### 2 対象経費

- (1) 建物等の復旧に必要な工事請負費および工事事務費
- (2) 被害額150千円以上の備品等購入経費および修繕費

### 3 補助金額

- (1) 建物分（補助率：国1/2、市1/4）

種別	施設数	補助金額
障害者支援施設等	1	8,558千円
児童福祉施設等	1	4,924千円
計	2	13,482千円

- (2) 備品分（補助率：県1/3、市1/3）

1施設につき補助上限額500千円 [被害報告のあった18施設を想定]

※ただし、(1)に該当する場合は、1施設につき補助上限額250千円  
(補助率：市1/3) [被害報告のあった2施設を想定]

### 4 予算額

- (1) 建物分 13,482千円
- (2) 備品分 9,500千円

### 5 財源

- (1) 建物分 社会福祉施設等災害復旧費補助金（国） 5,705千円  
児童福祉施設等災害復旧費補助金（国） 3,282千円  
社会福祉施設災害復旧債 2,800千円
- (2) 備品分 社会福祉施設等災害復旧事業費補助金（県） 4,500千円  
※(1)に該当する場合は、県補助の対象外

## 6 施設概要および施設位置図

### (1) 障害者支援施設等

設置主体	社会福祉法人秋田育明会
施設名称	グループホーム雪やなぎ (定員5名)
施設住所	秋田市柳田字佐渡端34番地2
規模構造	木造合金メッキ鋼板葺平家建 120.69㎡



### (2) 児童福祉施設等

設置主体	つなぐ和株式会社
施設名称	児童発達支援・放課後等デイサービスじゃんぷ (定員各10名)
施設住所	秋田市広面字釣瓶町35番地2
規模構造	木造2階建 (1階床面積: 122.14㎡、2階床面積: 77.32㎡)



## 老人福祉施設災害復旧費補助金について

### 1 事業内容

7月14日からの豪雨により被災した地域包括支援センターおよび介護保険施設等に対し、建物等の復旧工事や備品購入等に要する費用の一部を補助する。

### 2 対象経費

- (1) 建物等の復旧に必要な工事請負費および工事事務費
- (2) 被害額150千円以上の備品等購入経費および修繕費（地域包括支援センター除く）

### 3 補助金額

- (1) 建物分（補助率：国1/2、市1/4）

種別	施設数	補助金額
地域包括支援センター	1	8,316千円
介護保険施設等	5	190,846千円
計	6	199,162千円

- (2) 備品分（補助率：県1/3、市1/3）

1施設につき補助上限額500千円 [被害報告のあった19施設を想定]

※ただし、(1)に該当する場合は、1施設につき補助上限額250千円  
（補助率：市1/3） [被害報告のあった5施設を想定]

### 4 予算額

- (1) 建物分 199,162千円
- (2) 備品分 10,750千円

### 5 財源

- (1) 建物分 社会福祉施設等災害復旧費補助金（国） 132,774千円  
社会福祉施設災害復旧債 50,500千円
- (2) 備品分 社会福祉施設等災害復旧事業費補助金（県） 4,750千円  
※(1)に該当する場合は、県補助の対象外



## 6 施設概要および施設位置図

### (1) 地域包括支援センター

設置主体	社会福祉法人桜丘会
施設名称	中通地域包括支援センター 幸ザ・サロン
施設住所	秋田市中通六丁目4番27号
規模構造	鉄骨造陸屋根3階建 (1階面積192.42㎡、2階面積184.77㎡、3階面積100.89㎡)



### (2) 介護保険施設等

設置主体	社会福祉法人賛成福祉会
施設名称	地域密着型特別養護老人ホームうぐいす城東 (定員: 29名)
施設住所	秋田市広面字宮田32-1
規模構造	鉄骨造陸屋根2階建 (1階面積771.08㎡、2階面積727.80㎡)



設置主体	有限会社ケアサービスおちあい
施設名称	グループホームかんとぅ (定員: 18名)
施設住所	秋田市檜山川口境1 1-1 7
規模構造	木造平屋建 (553.59㎡)



設置主体	有限会社在宅ケアセンター
施設名称	小規模多機能型居宅介護和ごや家 (通所18名、宿泊9名)
施設住所	秋田市下北手松崎字前谷地1 4 1-1
規模構造	木造平屋建 (296.91㎡)



設置主体	社会福祉法人桜丘会
施設名称	小規模多機能型居宅介護幸の家（通所18名、宿泊8名）
施設住所	秋田市南通亀の町12-22
規模構造	コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺二階建 （1階面積330.93㎡、2階面積81.0㎡）



設置主体	株式会社りぼん
施設名称	小規模多機能型居宅介護りぼん広面（定員：通所18名、宿泊9名）
施設住所	秋田市広面字大袋50-3
規模構造	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板葺二階建 （1階面積137.12㎡、2階面積139.59㎡）

